

Standox<sup>®</sup> プレクリーナー Precleaner

- 水性クリーニング剤
- マイルドな匂い
- 溶剤排出量の低減

研磨した塗膜の前処理クリーニングに使用

# 使用上のポイント

「上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は 塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせて使用する場合にはこの限りではあり ません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与ますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を 行ってくださいますようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」

# Standox<sup>®</sup> プレクリーナー

### 素地:

- ・完全硬化し研磨した旧塗膜
- ・研磨したStandox® 2K/VOC フィラー類

### 作業プロセス:

水性クリーニング剤



クリーニング剤をスプレーまたは濡らした布で 均一に塗付 その後、清潔な乾いた布で拭き取る



コーナーと隙間部分から、残りの水分をエアージェットでエアブロー

### 前処理 / 脱脂クリーニング:



Standox<sup>®</sup> 塗装仕様S1素地 準備情報を参照



送気式スプレーマスクを必ず 着用して下さい。SDS/安全 データシート情報も参照して 下さい

「上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は 塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせて使用する場合にはこの限りではあり ません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与ますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を 行ってくださいますようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」

## Standox<sup>®</sup> プレクリーナー

### 引火点:

· 29°C / 84.2 °F

#### 比重:

 $\cdot 0.95 \text{ g/cm}^3$ 

### VOC (2004/42/EC):

2004/42/IIB(a)(200)200 この製品群のEU規定値 (プロダクトカ テゴリー: IIB.a) は希釈混合済み塗料 で 200 g/L。この製品の希釈混合済 みVOC値は 200 g/L

### 注意事項:

- ・塗膜上でStandox<sup>®</sup> プレクリーナーを乾燥させないこと (必ず乾燥前に拭き取ること)
- ・ 拭き取る布は頻繁に交換する。 (汚れたものを使用しない)
- ・収集廃棄物を処分する時は、溶剤タイプと水性タイプを分離して集めてください。そうしない場合は廃棄処分が難しく、処理費用が高くなります

<sup>「</sup>上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は 塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせて使用する場合にはこの限りではあり ません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与ますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を 行ってくださいますようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」